

# よかご通信

2011年2月号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村西併 587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)

O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/~reisi](http://www.aso.ne.jp/~reisi)

寒い寒い冬ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。私たちが南阿蘇に来て8年。こんなに雪が降ったのは初めてです。あんまり寒いので…家族で沖縄に行ってきました！まずはそのご報告から。

寒さに耐えられず阿蘇を逃げ出した訳ではありません。年末で耕太のマイレージが期限切れになっちゃう！ということで、農閑期の家族旅行を決定。そして沖縄に移住した友人が農業を始めたというので、視察&手伝いに行くことにしました。ジャンパーを脱ぎ捨て、いざ南国へ！ところが…予想よりずっと寒く、寒波は南の島にも訪れていました。でも寒いといっても、10℃以上はあるのですから贅沢は言えません。友人の住まいは名護市より北の「大宜味村(おおぎみそん)」。シークワーサーや大根、パイナップルの産地です。年が近い男の子がいるので、双子が二組のよう。彼らの住む村営住宅は、真冬の我が家に比べるとまるで天国。何しろ朝起きてから、裸足で過ごせるのですから！ちなみに、我が家はお湯が出ないので、蛇口からお湯が出るだけでも幸せ。給湯器をつければ良いのですが、薪ストーブだといつでもお湯が沸いているので、多少は不便だなあと思いつつも、もう8年が過ぎました。



さて畑を手伝おうにも、着いてしばらくは雨や曇りばかり。雨が上がっても、畑は水はけが悪く、仕事にならないのだそうです。これ幸いにと、水族館に行ったり、熱帯の動植物を見に行ったり。いわゆる「家族旅行」らしいこともできて、私と子供たちは大満足。耕太だけは「家族サービスをするサラリーマンの苦勞が分かった」と、ため息。普段、かなり自由に過ごしている分、思い通りに動けないのがストレスなのでしょうか(笑)。

2週目に入って天気が回復すると、「よおーし！」と笑顔で畑へ。そう、なんと沖縄は冬が農繁期。夏は暑すぎて、仕事にならないのだそうです。阿蘇での作業が本格化する前に、体を慣らすのも旅の目的の一つ。プロ野球選手だけでなく、農家も沖縄でキャンプ・イン！いよいよ耕太の出番です。沖縄に限らず日本全国



どこでもそうなのですが、農業をしたくても、まずは農地や家を借りるのが難問。使ってはいないけど、知らない人に貸すのはちょっと…という人が多いのです。そんな中、知人を頼って順調に土地を借りることができた友人。しかもなんといきなり5反(0.5ヘクタール)！立派なハウスまでついています。去年の秋からはじめたという赤土の畑には、ジャガイモやニンジン、ダイコン、マメなどが育ち始めていました。私たちが着いた翌日に赤カブを「初出荷」した彼。手にした額の少なさに苦笑いしていましたが、初めて自分

が作ったものを買ってもらう、というのは感慨深いものです。



私と子供たちは、ジャガイモの収穫や、草取り、間引きのお手伝い。耕太は重機をレンタルして、排水用の溝掘り。沖縄は赤土で粘土質とは聞いていましたが、本当に赤い！そして水が引かない。対して、阿蘇は火山質。スポンジのような構造で、どんどん水を吸っていきます。それが豊富な地下水の源。黒々とした肥沃な土地は、他所から来た人が羨ましがります。土も水もいい。南阿蘇の条件しか知らない私はそのことを当たり前のようにはじめていましたが、それは間違いだと知りました。やはり他を見てみるというのは勉強になるものです。沖縄といえば、旅行者にとっては憧れの地のひとつでもあります。農業は大変だろうなあ、というのが正直な感想でした。阿蘇だからラク、というわけではありませんが、農業をするのに、土と水がいかに大切なものであるかを再認識した沖縄研修でした。



話は遡りますが、沖縄の前に、私と三男だけは東京にも行きました。今回は4日間という短い滞在で、慶応大学の仕事がメインでした。以前にもご紹介しましたが、今年大学が取り組んでいる「政策提言プロジェクト」の中で、農業分野のアドバイザーをしています。エラそうな名前のわりには無報酬なのですが、おかげで3回も帰省し、少しは親孝行ができたかな？今回は学内の中間発表会。深刻な就職難に直面している学生たちにとって、「卒業後の選択肢に農業があってもいいんじゃない！？」ということで、プロジェクトに参加している学生は、若者が農業をしたいと思えるような政策提言をしたいと張り切っています。3月にはレポートをまとめるそうなので、どんな提言になったか、次号でご紹介します。

熊本に戻ると、今度は高校生のお相手です。阿蘇清峰高校（元農業高校）に、ゲストスピーカーとして呼ばれました。自分の年齢の半分以下の生徒たちを前に、うわあ、私おばさんだ〜！と。卒業後就農する3年生が今年は9人。実家を継いだり、農業法人に就職したりと様々ですが、堂々と抱負を語ってくれました。就農が早い分、途中で息抜きや回り道もしつつ、気長にこの国の農業を担ってくればな、と思うのでした。大学生や高校生の彼らが「大津家、楽しそう！」と思ってくれるような、そんな農家でいたいと思います。



皆様、春はもうすぐそこに来ている…はず。春の兆しを探しながら、ホカホカご飯で残りの寒さを乗り切ってくださいね。最後は沖縄で見た日本一早い桜の写真をお届けします。くれぐれも風邪などには十分ご注意くださいませ。

